

平成 23 年 11 月 21 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社  
代表者 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問合せ先 経営企画部長 鈴木 文彦  
電話番号 03-5730-2480

**世界初の高血圧 DNA ワクチンの基盤技術開発に成功**  
－ 大阪大学の研究グループが第 34 回日本高血圧学会にて報告 －

大阪大学の森下教授らの研究グループは世界初の高血圧 DNA ワクチンに関する基盤技術確立に成功し、高血圧モデル動物において、その高い有用性を実証いたしました。今回、栃木県総合文化センターで開催された第 34 回日本高血圧学会（10 月 20-22 日）にて、本成果が発表されましたので、その内容についてご報告いたします。

高血圧ワクチンは、日中の収縮期血圧を下げ続ける新しい治療法として注目を浴びています。とくに、アンジオテンシン (Ang) II、AngI や Ang 受容体に対するペプチドワクチンなどでその有効性が示されてきましたが、副作用や持続時間が短いなどの課題が指摘されており、実用化には至っておりません。

今回、大阪大学で新たに開発された高血圧 DNA ワクチンは、副作用がなく、降圧効果が従来のペプチドワクチンより長期間の効果（高血圧モデル動物で半年間持続。ヒトでは更に長期間の効果が期待できる）を示しました。また治療標的分子の Ang II のみならず Ang I にも作用するため、代表的な高血圧治療薬のレニン阻害薬、ACE 阻害薬、ARB (Ang II 受容体阻害薬) のそれぞれのメリットを併せた効果が期待できます。高血圧 DNA ワクチンでは、さらに経口薬剤が内服困難な高血圧患者の血圧コントロールや、高血圧予防用ワクチンとしての可能性も期待されます。

高血圧は最も代表的な生活習慣病であり、国内患者数は 3500 万人を超えています。IMS ジャパンによると、国内の主要薬効別売上高では高血圧治療薬が最大であり、2007 年から 4 年連続で 1 兆円を超えており、その中で ARB は 5700 億円を占め巨大市場を形成しています。

当社といたしましては、高血圧治療に高い有用性が期待できる本 DNA ワクチンの開発に関して大阪大学の森下教授の研究グループと連携し、実用化に向けた臨床試験開始と動物用薬剤としての応用を目指して参ります。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

※ 本発表内容は 11 月 21 日付け薬事日報でも紹介されました。

以上